

「大樹は有望な射場」

HASTIC

北大大学院「宇宙開発」で講演
鈴木准教授



講演する鈴木准教授

【札幌】NPO法人北海道宇宙科学技術創成センター(HASTIC)伊藤敏一理事長が主催する宇宙開発特別講演会が21日、北海道大学学術交流館で開かれた。北大公共政策大学院の鈴木一人准教授は「大樹町は有望な射場。北海道が宇宙開発の中心となることで地域の活力が増し、世界にアピールする強力な武器になる」と述べた。

鈴木氏は昨年5月に成立した宇宙基本法の策定に携わっており、政治学者の立場から宇宙開発を論じた。「宇宙は開発するものから使うものになっている」と指摘、低コストで信頼性を高めた売れる技術の開発、グローバルなサービス提供の必要性を強調した。

その上で道内におけるハイブリッドロケットCAMAUIや小型衛星の開発

大樹町の射場を活用した宇宙

宙・航空交通の一体化の取り組みなどを挙げ「世界のトレンドに合致する宇宙開発が進められている」と説明。宇宙開発の拠点とするためには、

力、利用者、開発者の連携が不可欠と述べた。(末次二郎)

CAMAUI打ち

上げや地域支援へ

今年度事業

HASTICは21日、20

09年度の総会を北大学術交

流会館で開いた。今年度の事

業計画ではCAMAUI打ち上

げ、十勝圏など地域の宇宙科

学技術に関する活動の支援、

講演会・セミナーの開催など

を決めた。